

資料 1

(案)
答 申 書

平成28年8月29日

宇都宮市上河内自治会議

目 次

1 はじめに	1
2 諮問対象事業（意見）	
（1）道路新設改良事業	2
（2）公共下水道整備事業	3
（3）生涯学習センター整備事業	4
（4）農道整備事業	5
（5）地域交流館整備事業	6
3 おわりに	7
審議の経緯	9
上河内自治会議委員名簿	10

<終了した事業>

- ・ 中学校体育館整備事業（平成26年度で整備完了）
- ・ 上水道事業統合整備（平成25年度で整備完了）
- ・ 児童の健全育成環境の整備（平成25年度で整備完了）
- ・ 中学校校舎整備事業（平成25年度で整備完了）
- ・ 農産物直売所等整備事業（平成25年度で整備完了）
- ・ 中里原土地区画整理事業（平成23年度で整備完了）
- ・ スマートIC恒久設置事業（平成22年度で整備完了）
- ・ 林道整備事業（平成21年度で整備完了）

1 はじめに

平成19年3月の市町合併から10年目を迎え、これまで、まちづくりの基盤である「合併市町村基本計画」の執行状況など、市長の諮問を受け、より円滑に事業が執行できるよう審議を進めてまいりました。

「合併市町村基本計画」に掲げた主要13事業の執行状況につきましては、「スマートIC恒久設置事業」「中里原土地区画整理事業」「上水道事業統合整備」をはじめ「上河内中学校体育館の耐震補強工事」が完了するなど、平成27年度までに8事業が完了し、宇都宮市にふさわしい魅力ある北部拠点としての地域形成が着実に進められてきております。

一方、生涯学習機能や歴史・伝統の継承のほか、地域の「まちづくり・人づくり」を進める拠点施設として、現在、改修を行っている上河内地域自治センターの供用が本年9月から開始されるほか、公共下水道整備事業や農道整備事業など、主要施策未完了事業についても、毎年度、計画的に整備されており、上河内地域における拠点の形成が促進されつつあります。

上河内自治会議の設置期間が本年をもって満了となりますが、今後とも、本答申を基に、「合併市町村基本計画」に掲げられた事業の早期完了と併せて「地域のまちづくり」を推進していくことで、「自然と人が共生し安心して暮らせる活力あふれる地域」が早期に実現されることを強く願うものです。

2 諮問対象事業（意見）

（1）道路新設改良事業

（進捗状況）

- ・ 市道10111号線については、一部、整備が未完了となっておりますが、県道の拡幅工事に合わせて工事を行う予定です。
- ・ 市道13125号線については、早期整備完了に向け、引き続き、地権者との用地交渉を行っています。
- ・ 市道13045号線及び市道13047号線については、平成23年度に整備が完了しました。

<執行状況>

路線名		進捗状況	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (予定)
事業内容	市道10111号線	一部未完了	—	—	—
	市道13125号線	整備中	用地交渉	用地交渉	用地交渉
	市道13045号線・ 市道13047号線	整備完了			
	市道13127号線	未着手	—	—	—
	予 算 額	当 年 度	0	0	0
	累 計	783百万円	783百万円	783百万円	

（意見）

地域内道路網の整備にあたっては、人と車が安心・安全に通行し、地域の活力がさらに高まるよう維持修繕を含め全市的な道路整備計画の中で、計画的に整備されることを望みます。

<市道10111号線>

一部未整備となっている箇所については、県道の拡幅工事に併せて整備を行う予定となっておりますが、歩行者や車両通行などの安全を早急に確保する必要があるため、県道整備が早期に実施されるよう県に働きかけを行い、一日も早い整備完了を望みます。

<市道13125号線>

用地取得の課題により、路線の一部が未整備となっており、生活道路としての安全性の確保と利便性の向上を早急に図る必要があるため、粘り強く、用地交渉を行い、一日も早い整備完了を望みます。

<市道13127号線>

周辺の土地利用計画の変更などにより、整備の必要性が薄れてきておりますが、今後、周辺の居住環境の変化などを逐次把握しながら、必要性が上がったときに整備されることを望みます。

(2) 公共下水道整備事業

(進捗状況)

上河内地域内の事業認可区域面積（248.2ha）に対する平成27年度末までの進捗率は71.0%となっており、計画的に公共下水道整備を行っています。

< 執行状況 >

	平成26年度		平成27年度		平成28年度（予定）	
事業内容	公共下水道 污水管渠築造工事		公共下水道 污水管渠築造工事		公共下水道 污水管渠築造工事	
	特定環境保全公共下水道 污水管渠築造工事		特定環境保全公共下水道 污水管渠築造工事		特定環境保全公共下水道 污水管渠築造工事	
実績	1.0ha		1.7ha		4.5ha	
実績累計	174.4ha		176.1ha		180.6ha	
進捗率	70.3%		71.0%		72.8%	
予算額	当年度	113百万円	136百万円		159百万円	
	累積	1,663百万円	1,799百万円		1,958百万円	

(意見)

地域の生活環境の向上や自然環境の保全を図るため、事業認可区域内の一日も早い整備完了を望みます。

併せて、公共下水道への接続率を高めるため、継続的な普及促進活動を取り組む必要があります。

また、公共下水道認可区域外の地域へは、合併処理浄化槽設置費補助制度を活用し、更なる合併処理浄化槽の設置を促進する必要があります。

(3) 生涯学習センター整備事業

(進捗状況)

地域のまちづくりの拠点として、まちづくりと人づくりを一体的に推進するため、上河内地域自治センター・上河内生涯学習センターの一体的整備として、平成28年9月の供用開始に向け、上河内地域自治センターの改修工事を行っています。

<執行状況>

	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予定)
事業内容	地元住民による上河内地区拠点施設整備検討委員会から提出された検討報告書も参考にしながら、上河内民俗資料館との合築による上河内地域自治センター・上河内生涯学習センター改修の実施設計を実施	上河内民俗資料館との合築による上河内地域自治センター・上河内生涯学習センター改修工事	・上河内地域自治センター改修工事 ・新上河内地域自治センター供用開始(9月) ・上河内生涯学習センター解体工事
予算額	当年度	24百万円	536百万円
	累計	24百万円	816百万円

(意見)

上河内地域自治センターの供用開始後、上河内生涯学習センターの解体を早急に完成させ、地域住民主導による地域イベントなどがより円滑に実施できるよう、一日も早い駐車場の整備完了を望みます。

また、上河内地域自治センターが、地域の「まちづくり」「人づくり」の拠点施設としての機能を十分に果たしながら「まちづくり活動」「生涯学習活動」及び「歴史・伝統の継承」などがさらに促進され、地域が発展できる取組みを行う必要があります。

(4) 農道整備事業

(進捗状況)

農業生産性の向上や農産物流通の合理化、また、地域住民の社会生活環境の改善を図るため、毎年度、一定額を予算化し計画的に農道舗装工事を行っています。

<執行状況>

	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予定)
事業内容	農道舗装工事	農道舗装工事	農道舗装工事
実績	678.3m	647.5m	550m
実績累計	9,299.4m	9,946.9m	10,496.9m
予算額	当年度	13百万円	13百万円
	累計	163百万円	176百万円

(意見)

上河内地域の主要産業である農業の生産性や流通をサポートするうえで、この事業は大変重要であり、合併後も計画的に整備が進められております。

なお、農道整備に際しては、土地改良区や地域農業者からの多様な意見を反映させるほか、地域住民の生活環境の向上などを踏まえ、引き続き、計画的に整備されることを望みます。

(5) 地域交流館整備事業

(進捗状況)

市民の交流拠点としての機能を維持するため、適正な施設の維持修繕を行うとともに、利用者へのサービス向上や運営の円滑化を図るため、指定管理者と連携しながら、各種交流事業の支援を行うなど、地域資源を活かした事業の充実や交流人口の増加に努めています。

<執行状況>

	平成26年度		平成27年度	平成28年度(予定)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者や地域団体等が主体的に実施する各種交流事業(ホテル観察会・農作業体験等)を支援 施設の維持修繕(温泉用深井戸水中ポンプその他改修工事等) 施設の有効活用に向けた検討(指定管理者との意見交換など) 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者や地域団体等が主体的に実施する各種交流事業(ホテル観察会・農作業体験等)を支援 施設の維持修繕(塗装改修工事等) 施設の有効活用に向けた検討(指定管理者との意見交換など) 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の実施する自主事業や、地域団体が主体的に実施する各種交流事業の支援 施設の維持修繕(東西サウナ改修工事等) 施設整備のあり方検討(施設の長寿命化に向けた検討) 自転車等を活用したイベントなど、施設や地域資源を活用した誘客促進事業の推進
予算額	当年度	23百万円	18.6百万円	12.1百万円
	累計	150百万円	168.6百万円	180.7百万円

(意見)

上河内地域におけるにぎわいの創出や市民等の交流の拠点施設として、引き続き、安定運営に努めていく必要があります。

このため、施設の長寿命化に向けた維持修繕をはじめ、利用者ニーズを的確に捉えながら、集客増加に向けた施設運営と各種事業の充実・展開が必要です。

特に、市民や利用者の声を反映した施設運営となるよう、定期的に指定管理者との意見交換を行うほか、「自転車の駅」を活用したイベントの開催や交流の場にふさわしい温泉施設(足湯の設置など)を充実するなど、施設や地域資源を活かした多様な誘客促進事業を推進し、交流人口の更なる増加を図る必要があります。

3 おわりに

市町合併からこれまでの10年間の歩みを振り返ると、東北自動車道への「スマートICの設置」や「国・県道の改良工事」により、広域交通の利便性を活かした産業や観光等による地域の活性化が大いに期待できるとともに、「中里原土地区画整理事業」により、秩序ある街並み形成や居住環境が整い、上河内地域にふさわしい「良好な居住環境」が形成されつつあります。

これにより、上河内地域の50年先、100年先を見据えた「まちづくりの礎」が築かれ、本市の目指す都市や地域拠点が連携する「ネットワーク型コンパクトシティ」に大きく前進したものと考えております。

一方、本年は、上河内自治会議設置期間の終年を迎えますが、「合併市町村基本計画」に掲げた未完了5事業につきましては、これまでの経緯や地域の実態等を十分踏まえ、引き続き、事業の早期完了に向けて積極的に取り組んでいただきたいと考えております。

特に、道路新設改良事業は、生活の利便性を向上させるためにも重要な事業でありますことから、幼児から高齢者の安全性を確保する観点からも未着手事業の路線変更も含め、一日も早い整備完了を強く望みます。

また、羽黒山をはじめ上河内特有の自然や文化など、地域の魅力を生かした個性豊かな活力ある「まちづくり」を推進するため、交流の場にふさわしい温泉施設の充実や地域資源との連動により相乗効果が得られるよう、地域の意見を十分に反映しながら、全市的な視点で交流人口の更なる増加に繋げていく必要があります。

結びになりますが、私たち上河内地域におきましても、「自然と人が共生し安心して暮らせる活力あふれる地域」づくりを目指し、この答申はもとより、今後の自治会議における点検・評価に基づく見直しを経て、最終的な取りまとめを行う「地域のまちづくりに

関する施策の提案」や数多くの意見等をまちづくり協議会が中心となった「まちづくり」に最大限に活かすとともに、市が策定を予定している立地適正化計画など、各種計画との整合を図りながら、これまで以上に行政と地域との連携を強化し取り組んでまいります。

～ 審議の経緯 ～

- 平成28年 4月28日 第1回宇都宮市上河内自治会議
- ・市長から「合併市町村基本計画の執行状況」について諮問
 - ・合併市町村基本計画の執行状況について説明（諮問対象事業の進捗状況について）
- 平成28年 5月23日 第2回宇都宮市上河内自治会議
- ・合併市町村基本計画の執行状況について審議
- 平成28年 6月28日 第3回宇都宮市上河内自治会議
- ・合併市町村基本計画の執行状況について審議（答申書[案]について）
- 平成28年 7月28日 第4回宇都宮市上河内自治会議
- ・合併市町村基本計画の執行状況について審議（答申書[案]について・答申書確定）

～ 上河内自治会議委員名簿 ～

会 長	太 田	正
副会長	神 山	光 男
委 員	束 原	和 勸
委 員	山 口	昭 子
委 員	川 津	榮 夫
委 員	高 橋	典 一
委 員	大 越	幸 夫
委 員	北 見	志 津
委 員	笹 沼	良 子
委 員	長谷川	脩 身
委 員	江 連	敏 正
委 員	石 川	典 男
委 員	鈴 木	政 一
委 員	金 田	倫 俊
委 員	渡 邊	秀 子
委 員	田 邊	恭 子
委 員	長 嶋	修
委 員	君 嶋	登 茂
委 員	福 嶋	
委 員	藤 枝	